

平成19年度 事務事業評価表						
(様式1)						
記入年月日	平成19年3月30日		記入者		連絡先	042-684-3211
平成18年度部名	経済部		課名	相模湖経済環境課	課長名	長谷川亮司
平成19年度部名	経済部		課名	相模湖経済環境課	課長名	長谷川亮司
事務事業名	水源の森林づくり事業					
予算上の事務事業名	水源の森林づくり事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	21110		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして					
政策名	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくります					
基本施策名	第1節 地球環境の保全に向けた取り組み					
施策名	第1施策 総合的な環境施策の推進					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
相模原市水源の森林づくり協力協約推進事業補助金交付要綱 神奈川県協力協約推進事業補助金交付要綱						
3 個別計画の概要			概要			
計画名	水源の森林づくり事業(県)			水源エリアの私有林の整備。(内協力協約については整備に対する補助)		
計画年次	9	年度～	34	年度		
4 事業形態の区分			助成(給付・補助・貸付)	5 事業開始年度		平成18年度
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)	
水源地域の森林の健全で活力ある状態を保ち、「豊かでおいしい水を安定的に確保するため、水源の森林づくり事業のメニューの中の協力協約において森林の整備を行う」					林所有者	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
1件3.63haの下の、2件3.07haの保育間伐、3件7.82の高齢級枝打・間伐の実施。						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 [単位:千円]						
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	4,190	5,662	5,662	
一般財源	0	0	0	1,091	1,091	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	4,190	4,571	4,571	
人件費の合計	0	0	1,980	1,980	1,980	
事業コスト合計	0	0	6,170	7,642	7,642	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	協力協約推進事業			対象名称 と単位	補助金(千円)/整備面積(ha)	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	0	4,190	5,662	5,662	
対象数	0	0	22	26	26	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	189,079	221,172	217,769	
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	1.17	0.98	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	森林の整備面積		指標式と指標の説明	枝打・間伐等補助対象事業の整備面積	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	22		
目標	0.0	0.0	22	26	26
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	森林の整備面積		指標式と指標の説明	県と調整した中で翌年の整備面積を設定	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	22		
目標	0.0	0.0	22	26	26
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業				
	[] : 概ね良好な状況である事業				
	[] : 見直しを行う必要がある事業				
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		県が力を入れている単独事業であり、積極的に取り入れ民有林の整備を図って生きたい。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
林業関係者による取りまとめや情報提供等により事業を推進していく。			19年度より市費上乘せがあるので、予算要求後の締結予定面積以上の締結ができない。 県の単価設定が毎年変わるので極端な変更があった場合予算対応が必要となる。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			